

まちづくりの経験を地域の未来に繋げよう

作成：M.K

出身地：伊勢原市

これまでの経験

幼い頃から地域の行事や活動によく参加していました。小学生の時は子ども会への入会や、地域に伝わる郷土玩具の大会や市のPR動画への参加、青少年育成事業や環境美化活動への参加を通して、地域への関心を深めました。中学1年から現在に至っては市のボランティア団体である「伊勢原ジュニアリーダーズクラブ（各地域関係諸団体との協力及び地域社会への参加を通じて、明るいまちづくりに貢献することを目的とした団体）」に所属しています。「自分たちで考え、自分たちから行動する」という基本理念の下、子ども会活動を中心とした地域団体への協力や市主催行事の運営補助、また自主企画活動として育成事業の開催や会員の資質向上のための自主研修会を行っています。



志望理由

地域づくりにとどまらず社会福祉や臨床心理など幅広い分野を学ぶことができ、「みんなが健康で幸せに暮らせる」well-beingという教育理念を掲げる法政大学現代福祉学部での学びに惹かれたからです。まちづくりを進めていくためには現地での調査や分析が欠かせないため、コミュニティマネジメント・インターシップという授業のようなフィールドワークが充実している点にも魅力を感じました。そして地域に関わる様々なステークホルダーの実態を知りたいと考えていました。

現福の授業の手応え

これまでの経験や経験から考えたことを知識として高めることができていると感じています。まちづくりにも様々なアプローチの方法があることを学び新たな視点や自分では考えられなかった発想に出会うこともでき、沢山の刺激をもらっています。

将来の夢

私の夢は、生まれ育った大好きな伊勢原市を「地域住民の笑顔あふれるまち」にすることです。その夢を叶えるために、地域の体験活動事業を多様化し、また参加しやすい環境づくりを行い、地域コミュニティを活性化するきっかけづくりをしたいと考えています。地域コミュニティを活性化するためには、地域住民としての当事者意識を持つことが大切であり、そのためにはまず地域を知ることが必要です。その手段の一つとして、地域の体験活動事業への参加が挙げられると考えました。私もそうであったように、地域で行われる体験事業に参加、参画することで、地域に愛着と誇りを持ち、地域づくりに対して主体的な姿勢で関わっていくのではないかとというのが今の私の考えです。

高校生の皆さんへ

まちづくりチャレンジ入試は、これまで地域社会と関わってきた経験を最大限に生かすことができ、自分の考えを深められる素晴らしい入試方法です。この入試で頑張ったこと、学んだことは大学受験で終わらず、必ず自分の将来に繋がります。まちづくりに対して熱い思いを持っている方、是非法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科と一緒に学びましょう！

法政大学現代福祉学部「まちづくりチャレンジ入試」に興味のある方は、以下のウェブサイトもご覧ください。

現代福祉学部で学びたい方へ <https://www.hosei.ac.jp/gendaifukushi/jukensei/>